

雑 報

法学会研究報告記事

(2023年4月～2024年3月)

2023年7月5日(水)

9月修了予定者修士論文／リサーチ
チペーパー報告会

○なぜ、子どもは生まれさせ
られてしまうのか？

原田 悠太郎

○日本とイギリスの児童虐待
法制とリービングケア

朝生 華子

2024年1月10日(水)

2023年度修了予定者修士論文／
リサーチペーパー報告会

○不法行為に基づく懲罰的損
害賠償制度に関する一考察
——日米中の比較検討を中
心に

黄 非凡

○なぜ、子どもは生まれさせ
られてしまうのか？

原田 悠太郎

○近親者保証に関する一考察
——人的関係に基づく不合
理な判断の是正

清水 美海

○太陽光発電施設規制におけ
る都道府県条例と市町村条
例の関係

府川 りくか

○国・地方の財政関係のあり
方

——「地方の頑張り」と地
方交付税制度を検討材料と
して

金子 紗也

○中国におけるプラットフォーム
マーの著作権侵害責任

GONG HANCHAO

○中国における法人格否認の
逆用制度に関する考察

——日中判例比較の視点か
ら

苟 孟芸

○日英の社会的養護と自立支
援

朝生 華子

○刑事捜査権の日中比較研究
——強制処分法定主義、令
状主義の中国刑事訴訟法へ
の導入に関する検討

郭 少軒

比較法・外国法研究会記事

(2023年4月～2024年3月)

第212回 2023年4月22日

○ロシアと侵略犯罪 洪 恵子

第213回 2023年6月10日
○領得犯罪の位置づけ 穴沢 大輔

第214回 2023年7月15日
○フランス年金改革法と憲法
小林 真紀

第215回 2024年1月7日
栄養問題と機関投資家のスチ
ュワードシップ責任
——生命保険会社に期待さ
れる役割 梅村 悠

第216回 2024年3月23日
ドイツの民事訴訟件数が過
去20年で3割減少したワ
ケ
——連邦司法省委託検証レ
ポートを読む 松本 尚子

保険法研究会記事
(2023年4月～2024年3月)

第94回 2023年4月22日
○広島高決令4年2月25日
判時2536号56頁 坂本 貴生

○東京地判令和4年3月24
日自保ジャーナル2125号
174頁 清水 太郎

第95回 2023年6月10日
○山口地判令和3年7月15
日金判1633号46頁 勝野 真人

○東京地判令和1年7月3日

LEX/DB 25581297 大野 徹也

第96回 2023年7月22日
○東京地裁令和3年11月26
日 Westlaw Japan 2021
WLJPCA11268027 天野 康弘

○東京地判令和3年2月17
日 Westlaw Japan 2021
WLJPCA02178011 甘利 公人

第97回 2023年10月14日
○東京高判令4年10月13日
判時2550号30頁 石井 忠雄

○東京地判令和3年6月22
日金法2181号85頁 吉川 良平

第98回 2023年12月9日
○東京高判令和4年11月30
日・判例集未搭載(原審:
静岡地浜松支判令和4年4
月25日・判例集未搭載)

勝野 義人
○東京地判令和5年3月14
日金商1676号51頁 勝野 真人

第99回 2024年2月3日
○札幌地判令和5年3月14
日判例秘書L07850171 徳山 佳祐

○東京地判令和2年6月22
日判時2496号45頁 遠山 聡

刑事法研究会記事

(2023年4月～2024年3月)

第24回 2023年5月20日(土)

○判例レビュー(2022年5月～2023年5月)

○判例研究「最三決令和5年2月20日裁判所Web」中谷 仁亮

○研究報告「犯罪の継続についての理論的基礎」牧 耕太郎

第25回 2023年7月22日(土)

○判例研究「スカート着用の前かがみになった女性に後方の至近距離からカメラを構えるなどした行為が、公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例(昭和37年東京都条例第103号)5条1項3号にいう『人を著しく羞恥させ、人に不安を覚えさせるような卑わいな言動』に当たるとされた事例(最決令和4年12月5日)」
富山 侑美

○特別企画〈古田佑紀先生の話聞く〉「刑事立法作業を振り返って～私的回顧～(1)」古田 佑紀

第26回 2023年9月23日(土)

○判例研究「捜査機関による

押収処分を受けた者の還付請求が権利の濫用として許されないとされた事例(最決令和4年7月27日刑集76巻5号685頁)」峰 ひろみ

○特別企画〈古田佑紀先生の話聞く〉「刑事立法作業を振り返って～私的回顧～(2・完)」古田 佑紀

第27回 2023年11月25日(土)

○研究報告「責任能力判断のあれこれ」三好 幹夫

○研究報告「金融商品取引法158条違反の罪についての一考察」穴沢 大輔

第28回 2024年1月27日(土)

○判例研究「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律51条1項3号による原審の医療終了決定について、対象者からの抗告申立てを上訴の利益を欠いて不適法とする一方、同法49条1項による指定入院医療機関の管理者からの抗告申立てについて同決定には重大な事実誤認があるとしてこれを取り消し、事件を原審に差し戻した事例(福岡高決令和5年1月20日判タ1513号143頁)」

三好 幹夫

○研究報告「医療観察法と他
法との関係——特に、精神
保健福祉法との関係をめぐ
って」

水留 正流

○判例研究「被害者解放後に
財産取得が予定されていた
場合における強盗罪の成否
(福岡高判平成29年9月
19日判タ1455号92頁)」

富高 彩

第29回 2024年3月16日(土)

○研究報告「いわゆる誤振込
みと電子計算機使用詐欺罪
の成否」 伊藤 渉

○研究報告「独占禁止法にお
ける不当な取引制限の罪と
犯罪の継続・終了」 牧 耕太郎